

設立趣旨書

1 趣旨

近年、障害を持った人々を取り巻く環境は大きく変貌を遂げています。ノーマライゼーションの理念の元、脱施設化や就労支援サービスの充実が実を結び、障害を持った人々が一般社会、地域社会に広く進出しました。これは障害を持った本人やその家族、支援者が「当たり前の生活」を探求し、周辺地域社会に障害理解を積極的に求めていった結果です。それと同時に、同じ課題や悩みを持った個人や団体によるネットワーク作りも盛んになってきています。埼玉県北部においても障害をもつ子の親同士のサークルや行政、教育、施設、労働など、従来の枠を超えたネットワークが充実してきています。しかし、それは個々の集団レベルであって、まだまだ発展の余地があります。障害を持っている本人や家族にとって、就学前、学齢期、成人期、老齢期と長い生涯を通して悩みや課題は様々であります。しかし、どの時期においても将来への危惧、つまり「この先どうなるのだろうか?」といった不安から逃れることはできません。

私たちはこのような状況の中、障害を持った人々や家族にとって安心につながる社会資源とは何かを検討しました。その結果、家族の負担を減らし、障害を持った本人が充実した生活を送ることが可能な居住空間の確保、また、就学前や学齢期などの児童や家族にとっては、学校卒業後の自立した生活を目指すための助言や療育のできる為のスペースが最も必要であるとの結論に至りました。

長期的な視野に立ち、継続可能な支援を行うために法人格を具備し、人的なネットワークを広げ、社会的な責任・使命を自覚した上で、地域にしっかりと密着した活動をしていきたいと考えております。

2 申請に至るまでの経過

平成 21 年 1 月に設立発起人を中心に今後の障害者福祉の在り方についての勉強会を開催しました。そして、緊急性かつ必要性の高い事業を行うために、NPO 法人化の検討を合わせて行いました。平成 21 年 3 月に行政機関へ事業開始についての相談をし、要件を確認し、再検討を重ねました。平成 21 年 4 月 26 日設立総会を開催し、有志 10 人が集まり、設立発起人の意見に賛同した後、それぞれの意思疎通を行いました。障害を持った人たちのライフサイクルに合わせた支援を安定的、かつ長期的に行うために NPO 法人化は不可欠だと考えています。

平成 21 年 4 月 26 日

NPO 法人道の空路

設立代表者 住所 埼玉県深谷市上野台 3 1 1 6 番地 4

氏名 杉山 泉

